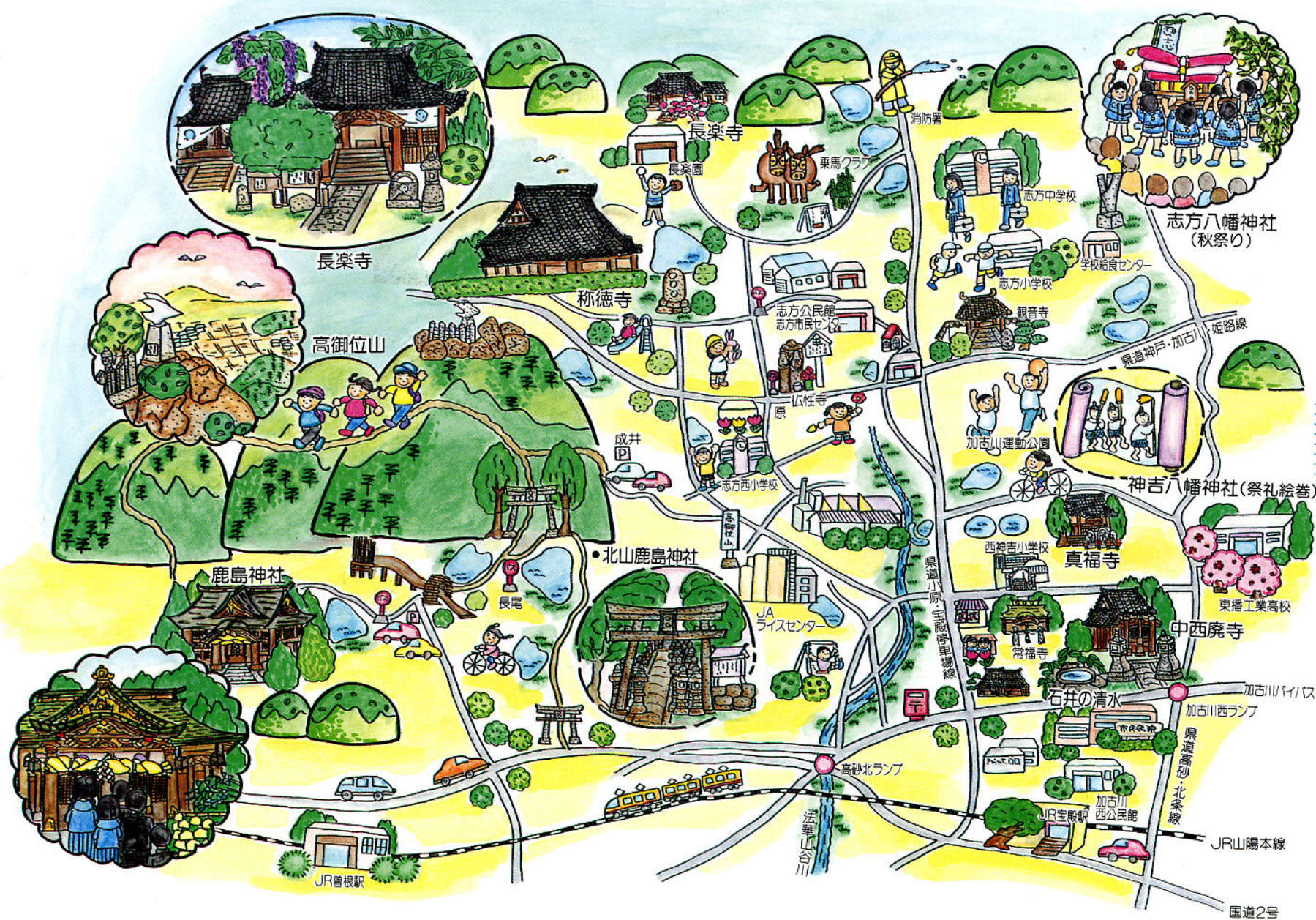


高御位山 てくてくハイク

歩いてまわれるコースで名所旧跡を紹介する散策シリーズ。
標高304mの山頂からの眺めは、播磨工業地帯を眼下に、北は中国山脈の連山、南は瀬戸内海から淡路・四国の島々、天気が良ければ遠く和歌山まで見渡せる「高御位山てくてくハイク」。
加古川再発見に、さあ、出発！



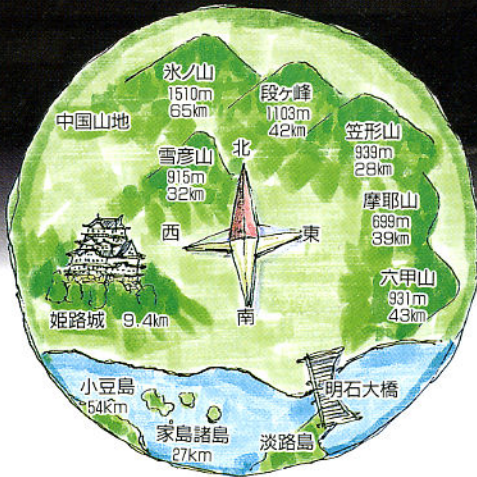
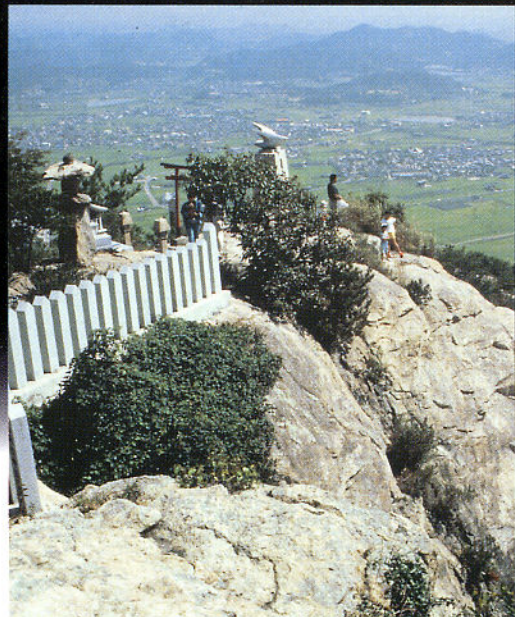
コース		ハイキングコース		徒歩		バス	
JR 宝殿駅	4.5km 68分	高御位神社 成井登山口	1.4km 42分	高御位 (山頂)	1.5km 105分	鹿島神社 鹿島登山口	0.4km
	8.5km	原	1.7km	長尾登山口	3.6km 54分	JR 曾根駅	5.0km
				長尾	0.4km		3.5km (神姫バス)

高御位山 てくてく ハイク



人に告ぐべき
寂しさにあらぬ
ゆうぐれをひとり杜にきて
しみじみと樹をゆする
泣けばとてかへるものかよ
告げばとて癒ゆるものかよ
しみじみと樹をゆする

繁市



高御位神社

大日貴命(おこなむちのみこと)を主祭神とする高御位大明神=高御位神社が、山頂にあります。播磨国神名帳によると、印南郡の人々は、高御位大明神(自然の石を拝む所)と生石大神(人工の石を拝む所)の大神二社を岩石崇拝として祭っていたと考えられています。

高御位山

播磨富士と呼ばれ、多くの人々に親しまれている山です。標高304m。頂上には高御位神社があります。大正10年のグライダー関西初飛行で一躍全国に知られました。鳥居前にその偉業をたたえる「飛翔」の碑が建っています。頂上からの展望は、淡路・四国まで見渡せる絶景。元日には山上で多くの市民が初日の出を迎えます。



長楽寺

浄土宗の寺院で、和銅6年(713)慈心上人の開基といわれています。本尊の本造地藏菩薩半跏像(重要文化財)は、「谷の子安地蔵」として安産祈願のお参りが絶えません。高倉帝のとき、平清盛が日本六十余州の国々に一体ずつ安置したものの一つであるといわれています。本堂をはじめとする諸堂と、桜、紅葉、椿の木立が、静かな環境を作っています。近くに、グラウンドや老人福祉センターもあります。

子安地蔵尊 略縁起

人皇80代高倉天皇の中宮建礼門院(平相国清盛公の御女)は治承2年10月27日よりお産の気がつかれ、大変にご難産であつたので諸所の神社仏閣に安産の祈願をなされたがその験がありませんでした。祈りから丹波老の坂の地藏尊は女人安産の霊験あらたかであることを聞き召し直ちに勅使をたてて参籠祈願あらせられたところに不思議やその夜より中宮の御悩は次第にうすらぎ7日満ずる夜の明け方、いとも安らかに玉のような皇子を挙げ給いました。これ即ち第81代安徳天皇です。天皇はお喜びの余り、清盛に命じて同体の地藏尊66体を刻みて日本66州、一国に一体を安置せしめられました。中でも当寺安置の土蔵菩薩と、東海道に名高き関の地藏菩薩とは、一刀三札の至誠を捧げ、かの老の坂の地藏尊と同体分身として歴代の勸願所と仰がれました。



木造延命子安地藏菩薩半跏像
(重要文化財)